

高梁市議会だより

第57号
2024年2月

給与改定と物価高騰対策 審議に注力

災害復旧事業に係る
未払金調査等特別委員会からの報告

「第23回エデュケーレ in たかはし」に
議員の有志が参加しました



賛否が分かれるも

未払い事案に決着

高梁市議会だより

2024
2

ご意見はこちらまで ■ 高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

発行 高梁市議会

3月の定例会スケジュール

3/4	月	本会議（議案の上程）
8	金	本会議（一般質問）
11	月	本会議（一般質問）
12	火	本会議（一般質問）
14	木	本会議（議案質疑）
15	金	委員会
18	月	委員会
19	火	委員会
25	月	本会議（採決）

※3月定例会への請願・陳情の締め切りは
2月27日（火）までです

※日程は変更となる場合があります。正式
な日程は決まり次第、ホームページでお
知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選
挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を
出すことは禁止されています。市民
から求めることも禁止です。



編集

議会広報公聴特別委員会
委員長 森 和之
副委員長 金尾 恭士
委員 石部 誠
委員 石井 聡美
委員 森上 昌生
委員 伊藤 泰樹
委員 新倉 淳
委員 平松 久幸



▲旧有漢小学校

そんな中、李蔵にチャ
ンスが到来します。村内
の建築物に興味を持ちア
メリカ留学を夢見るので
した。

李蔵は親戚の事業を手伝いな
がら建築に興味を持ち続け
ました。当時の有漢村は全
県内外から多くの視察者が来
村していました。李蔵も村に
あるキリスト教伝道所を通じて、西
洋の書物などを見て西洋
の建築物に興味を持ちア
メリカ留学を夢見るので
した。



▶大正時代の有漢村信用組合庁舎
▶笹田写真館

大正から昭和初期にかけて、
有漢には西洋の匂いを感じさせ
る建築物が20棟近く立ち並ん
でいました。これを実現したのが、
アメリカに渡って建築学を学ん
できた有漢村中市出身の建築
家、吉田李蔵です。

新 高梁
人名録



よしだ もくぞう
吉田李蔵
(生存年月不詳)

5年の留学を終えて帰国した
李蔵は早速村から、有漢小学
校と教員養成所の新築を依頼さ
れます。当時県内に存在しな
かったバルコニー付きのモダン
な建物が建設されました。

100年前「世界一の教育村」
と言われた有漢村を洋風建築で
飾ったのが李蔵だったのです。

今号の
表紙

高梁市立松山高等学校



令和6年の干支は辰（龍）
ですが、厳密に言えば甲辰
（きのえたつ）です。「甲」
は期先の成長を表す意味が
あり、植物が成長するよう
にどんどん勢いを増してく
るといわれています。また、
辰巳（たつみ）天井と言わ

れ辰年と巳年は株価が高値
を付け、好景気が期待され
る年でもあります。
市民皆様の運氣も龍のご
とく上昇し、夢がかないま
すようお祈りします。
(平松久幸)

高梁市立松山高等学校は
昭和24年に若者たちの情熱
と学びの精神により設立さ
れました。夜間定時制で働
きながら学ぶ特性を生か
し、14名の生徒に寄り添っ
た運営を行っています。市
内外から生徒が通学し、
年齢層は10代から50代と
広く、異なる世代の人間
関係が形成されています。
体育祭や文化祭、球技
大会、新入生歓迎行事、
修学旅行などの学校行事が
開催され、夏にはポルカで
のミニ縁日や地域行事への
参加、インスタグラムなど
SNSでの発信も行われて
います。



12月定例会

給与改定と物価高騰対策 審議に注力

総務文教委員会では、議案17件と請願1件を審議しました。職員給与の一部改正においては、業績評価を勤勉手当に反映することについて質疑があり、賛成多数で可決。市長等特別職の給与改正も賛成多数で可決しました。

認定こども園整備に関する工事請負契約については、入札率や費用などについて質疑を行いました。

請願については、小中学校の給食費無償化を求めるもので、財源に関する調査が進んでおらず反対する意見もあり、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

産業経済委員会では、議案8件と請願1件を審議しました。水道基本料金の減免に関する議案では、3か月の期間が短いとの意見や基本料金だけでなく超過分も減免すべきとの意見がありました。議案は全員一致で可決しました。請

願第5号では最低賃金全国統一に関する意見が交わされ、最低賃金統一には地域での物価差と雇用する企業への配慮も必要ではないか等の意見もあり、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

市民生活委員会では、議案10件と請願3件を審議しました。議案は全員一致で可決。請願第3号は刑事訴訟法改正を求めるもので、必要性について検討されたが、不採択とすべきものと決しました。請願第6号は健康保険証の存続を求めるものであるが、不採択とすべきものと決しました。継続審査の請願第1号は心身障害者医療費助成制度の実施に関するもので、県の実施時期が未定の中で財政面の議論があり、不採択とすべきものと決しました。

令和5年12月1日から21までの21日間、令和5年第6回12月定例会を開催し、市長から提出された議案14件を原案のとおり可決しました。また、追加提出された議案16件を原案のとおり可決、人事案件の議案1件を同意しました。各団体から寄せられた請願5

件（1件は前回からの継続審査）はいずれも不採択とし、さらに議員発議の議案1件を原案のとおり可決しました。

最終日21日には災害復旧事業に係る未払金調査等特別委員会から審査結果の報告があり、報告書を原案のとおり可決しました。

討 論

反対討論

石部 誠 議員

議案第75号と第76号は、市職員の給与に人事評価制度を導入する議案である。この制度は職員を5段階で評価を行い、上位評価の給与アップの職員数と同率の給与ダウンの職員を選別する。これでは全体の頑張りが評価されず、職員のモチベーションの低下を招く恐れがある。むしろ評価を行う管理職の能力引き上げや良好な職場環境、職員育成システムの構築が必要であり、反対する。

議案第90号は市長を始め特別職の給与引き上げの議案である。市民生活は低賃金や年金の引き下げ、物価高騰で大変な状況である。今議会でも市長等3役の給与引き上げは市民の理解を得られないと思えず、次期市長選挙での評価後に提案するべきと考え反対する。

議案第103号の水道料金の減免は賛成であるが、「ベビーファースト宣言」事業者への特別扱いが続いている。民間団体の運動に市民の税金が投入されることには問題があると指摘する。

賛成討論

平松 久幸 議員

全ての議案に賛成するが意見を述べ

る。議案第94号の高梁認定こども園工事請負契約の建築本体工事・電気設備工事締結や議案第96号の機械設備工事などの基本設計が特命随意契約であることが、行財政改革に沿っているのか疑問を感じる。また落札率が高い点は県の審査会でも指摘されており、入札手続きの運用も注視が必要である。あわせて、大阪万博や全国の合併特例債駆け込み需要などで建築材料の不足もある。危機的状況下で進行中の新消防庁舎や高梁認定こども園建設は工期内の事業完了に向け尽力をお願いする。

議案第78号の有漢義務教育学校の校歌作成について、歌は何十年先にも残るものであり、地域や子供たちに理解されるものをお願いする。物価高騰で市民が苦しむ中であり、行政、議員も今は身を切る改革が必要と感じる。

12月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対

議案番号	件 名	金尾	新倉	平松	伊藤	森上	森	石井	三村	石部	宮田好	小林	川上修	倉野	川上博	宮田公	大月
議案第75号	高梁市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	高梁市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	高梁市長等の給料その他給与条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
乙議案第5号	高梁市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	●	●	●	○	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○
請 願 第 1 号	心身障害者医療費助成制度の精神障がい者への適用に関する高梁市の単独での実施についての請願	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●
請 願 第 3 号	再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書提出に関する請願について	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●
請 願 第 4 号	小中学校の学校給食費の無償化を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●
請 願 第 5 号	「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願	○	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●
請 願 第 6 号	国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。



高梁市議会
YouTube 公式チャンネル 配信中!

高梁市議会 Youtube チャンネル
で、過去の一般質問を見ることができます。





賛否が分かれるも 「未払い事案」に決着

12月臨時会

年の瀬の臨時会で
支払い金を含めた 補正予算を可決

令和5年12月27日に第7回臨時会を開催しました。この議会では令和2年度と4年度に発生していた未払いの工事費支払いのための補正予算と、今回の事案を受けての市長の減給処分に関わる条例と補正予算を審議しました。採決の結果は、賛成10反対5になり、賛成多数で可決されました。

12月27日臨時会に上程された2議案は、総務文教委員会と産業経済委員会に付託され、それぞれ審議されました。

議案第105号は「高梁市長等の給料その他給与条例の一部を改正する条例」、議案第106号は「令和5年度高梁市一般会計補正予算(第7号)」です。これらの議案は9月定例会において市長から報告のあった工事費未払い事案(1社に対して計2件約3000万円の未払い)に関するものです。

議会では未払い事案に対し、議員8人で構成する特別委員会を9月に設置。12月までの4カ月間にわたり関係部局からの説明、質疑応答、また現地確認も重ねてきました。議会として12月21日、市長に三たび起きることがないことを「報告書」に記し提出しました。

議案105号
市長等の給料その他の給与条例の一部を改正する条例について

総務文教委員会では、同じ市長の下で工事費未払い事案が再び起きてしまった、平成29年度の未払い事案の教訓が反映されていない、市役所の中にチエック体制が構築されていない、「報告・連絡・相談」ができていないのではないかと、市長の処分「1カ月の減給(10分の1)」はあまりにも軽い、該当職員の停職5カ月は仕方ないとして、事務方トップの副市長の処分も必要ではないのか等の意見がありました。採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決しました。

議案106号
令和5年度高梁市一般会計補正予算について

産業経済委員会では未払い事案の工事請負費について審査しました。委員からは、変更

届がきちんと手続きがされていれば、災害認定され国の補助事業になり得た案件ではなかったのか。工期内の工事完了であれば、追加工事の必要もなかったのではないかと。業者においても瑕疵事項があるのではないかと。市が満額支払う必要あるのか、といった意見がある一方、今回の事案は、常識では考えられない口頭だけの契約であり、担当者の責任が大きく、平成29年度の未払い事案の反省も生かされておらず、今後提出される再発防止策の作成において、今後組織として機能するように、十分協議がなされることを要望する、といった意見がありました。採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。

なお、総務文教委員会では、市長の減給、工事請負費の財源を審査し、約2975万円の補正予算は賛成少数で否決すべきものと決しました。

討 論

反対討論

石部 誠 議員

議案第105号については、該当職員は停職5カ月。しかし、監督をすべき市長、幹部職員に重い処分とはいえないながら、市長は減給1カ月。該当の職員の上司も訓告、戒告という軽い処分となっている。近藤市長の下で2度目の事案でもあり、このことを鑑みてもバランスを欠いた処分内容である。また、事務方トップの副市長の処分がないのも不可解である。

議案第106号においては国庫補助のある災害復旧事業でできたはずで約3000万円もの市民負担にはならなかったのではないかと考える。市民が納めた貴重な税金を、不祥事のために支払うことになるのは大変残念である。また、約3000万円の積算根拠もあいまいで、再発防止策がなされないままでは到底納得いくものではなく反対する。

賛成討論

小林重樹 議員

議案第105号については、市長自ら給与を減額するという判断をしたことに意義があると思う。前回の未払い事案と今回の未払い事案では事象が異なるが、減給については妥当だと考える。

議案第106号は未払い事案の工事費の補正であり、災害復旧事業に係る未払金調査等特別委員会から本会議最終日に委員長報告がなされており、報告書を全会一致で原案可決している。可決した事案によって組まれた補正予算を通さないのは議会として配慮に欠けていると考える。執行部の責任は否めないが、特別委員会委員長が市長に対し報告書を提出し、執行部は処分内容を示した上で、速やかに再発防止策を取りまとめ、議会に対して報告すると説明があった。このことから議案第105号と第106号については賛成する。

12月臨時会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議案番号	件 名	金尾	新倉	平松	伊藤	森上	森	石井	三村	石部	宮田好	小林	川上修	倉野	川上博	宮田公	大月
議案第105号	高梁市長等の給料その他給与条例の一部を改正する条例	●	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠
議案第106号	令和5年度高梁市一般会計補正予算(第7号)	●	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠

※議長は採決には加わりません。

災害復旧事業に係る 未払金調査等特別委員会 からの報告

災害復旧事業に係る未払金調査等特別委員会では、事案の発生原因やその背景の究明、併せて再発を防止し、市民への説明責任を果たすことを目的として、事務の調査を行いました。

執行部に対して説明と回答を求め、現地調査も行い、委員会の開催は10回に上りました。

委員会では、発生原因、追加工事内容の確認、竣工検査の在り方、請負業者の責任、契約の成否、再発防止策の検証も行い、提言を取りまとめ、議会に報告しました。

執行部に対しては、関係者の厳正なる処分を行うとともに、委員会の提言を真摯に受け止め、早期に具体的な再発防止策を作成し、市民及び議会に対して報告することを求めました。そして、全ての職員のコンプライアンス確立を行うこと、職場内での情報共有、人事管理を徹底することにより、損なわれた市民からの信頼回復に全力を傾注するよう強く要望しました。

議会としても今回の事案発生を教訓として、市政に対する監視機能の強化に努めるとともに、市民の行政への信頼回復のために責務を果たさなければなりません。

委員会の経過	
9月 8日	市長が議会で未払い事案の発生を報告
8日	議会運営委員会で議論
14日	全員協議会を開催し、執行部が説明
15日	議会運営委員会で議論
22日	議会運営委員会で議論
27日	全員協議会を開催し、再度執行部が説明
29日	特別委員会設置、第1回開催
10月 4日	特別委員会第2回開催
18日	特別委員会第3回開催
20日	特別委員会第4回開催
11月 1日	現地確認後、特別委員会第5回開催
7日	特別委員会第6回開催
15日	特別委員会第7回開催
20日	特別委員会第8回開催
12月 7日	特別委員会第9回開催
11日	特別委員会第10回開催
21日	定例会最終日に報告書を市長へ提出



報告書を市長に提出

議会 ニュース



全員協議会で
中期財政見通しなどを議論

11月20日に全員協議会が開催され、理財課から、高梁市中期財政見通しについて説明がありました。

歳入については、徐々に市民税の減少が予測され、その上、高齢化に伴い扶助費の割合が高くなることが明確です。財政を表す主要な指標である「経常収支比率」が令和14年度までの10年間で97〜98パーセントの高水準となることが明らかとなり、市の財政状況の一層の厳しさが浮き彫りとなりました。

高梁認定こども園（仮称）の施設整備事業の進捗状況について、教育総務課より説明がありました。また、令和7年4月からの入園者見込み数については、現状では分からないが、令和6年度と同程度ではないかといった回答がありました。ZEB化による施設全体の光熱費のシミュレーション、CO₂の総排出量の数値については、後日資料での回答となりました。



雲南市での視察

移住・定住の促進が進んでいきます。

市民生活委員会で
島根県の子育て施策を調査

市民生活委員会では、11月13日・14日に管外行政視察で島根県松江市と雲南市を訪問しました。松江市は人口減少と出生数の低下に対し、子育て環境改善のため「伴走型相談支援」や「経済的支援」を導入しています。産後ケアに力を注いでおり、出生数は横ばいとなり、地域全体の子育て環境が向上しています。

雲南市は人口減少対策として「移住・定住の取り組み」を強化。定住基盤整備や地域自主組織の協力で、過去7年で1862人の移住者を記録し、定住世帯数が増加。地域課題解決と「ソーシャルチャレンジ」を通じて、移住・定住の促進が進んでいきます。

産業経済委員会で
岡山自動車道盛土場を視察

産業経済委員会では、11月9日、岡山自動車道有漢トンネル南抗口周辺、有漢高架橋、大塚盛土場、秋町残土場の現地の状況を確認しました。岡山自動車道工事から排出された残土を受け入れている盛土場は、現在大塚盛土場のみであり、当初計画では40万立方メートルでしたが、16万立方メートルに変更になりました。3800平方メートルと3200平方メートルの平地ができていますが、完成後の活用は検討中です。

秋町残土場は約7万平方メートルの面積を有しており、高梁管内のしゅんせつ土40万立方メートルを県が搬入します。



秋町残土場

ココを聞きました！

金尾恭士 **【代表質問】**

- ・市長の政治姿勢について
- ・農業振興について
- ・市民への支援について

石井聡美

- ・窓口業務について
- ・子育て施策について
- ・学校再編について
- ・中期財政見通しについて

小林重樹

- ・令和 6 年度予算編成と施策の取組について
- ・人口問題について
- ・観光施策について

新倉 淳

- ・本市の農業に関する施策について

石部 誠

- ・不祥事への対応について
- ・公営住宅の現状と今後について
- ・高梁市の水道水の提供について

平松久幸

- ・技師不足への対応について
- ・高梁認定こども園（仮称）の基本設計について
- ・小・中学校の洋式トイレ化について
- ・学習用タブレットを活用した取組について

森 和之

- ・子育て支援施策について
- ・シティプロモーションについて
- ・ふるさと納税について
- ・山田方谷大河ドラマ化について
- ・地域担当職員について
- ・職員のコンプライアンス研修について

川上修一

- ・電源立地地域対策交付金について
- ・自然災害について
- ・立地適正化計画について

川上博司

- ・物価高騰対策について
- ・GIGA スクールの課題と対策について

伊藤泰樹

- ・人材育成と組織体制について
- ・公共施設の整備と管理並びに広報的活用について
- ・自主防災組織について
- ・野焼きについて
- ・住宅リフォーム事業費補助金について

森上昌生

- ・観光施策について
- ・文化施策について
- ・野良猫対策について

宮田好夫

- ・産業廃棄物最終処分場について

市内5カ所で
議会報告会を開催

11月16日から11月24日まで、
第14回議会報告会を5会場で
開催しました。

議会報告会は市民の多様な
意見を市政に反映させていくた
め、また開かれた議会となる
ために、議会が市民への報告
と意見交換会を行うもので、
「高梁市議会基本条例」に開催
することが明記されています。

今回は、町内会、高梁母親
クラブ、成羽母親クラブ、野
良猫問題に関心のある市民、
有漢学園学校運営協議会を対
象に開催しました。高齢化が
進む町内会が抱える問題、子
育て世代からは医療、教育を
含めた子育てのリアルな声、
動物愛護の観点から見えてく
る野良猫の問題、有漢義務教
育学校開設に向けた地域課題
など、どの会場からも貴重な
意見をいただき、実りある議

会報告会となりました。



高梁市図書館での議会報告会

「高梁市議会議員の議員報酬
及び費用弁償等に関する条
例の一部を改正する条例」
について

議員報酬に関しては議会のあ
り方検討特別委員会で議論を重
ねてきました。その中で、市
民や有識者で構成される「高梁
市特別職報酬等審議会」の意
見を聴くべきとの方針が示され
たことから、令和5年2月21
日に「高梁市特別職報酬等審
議会」開催の申し入れを市長に
行い、11月7日に市長から議
会に答申内容の報告がありまし
た。

答申の主な内容は、①議員報

酬について議長は1万円、その
他の議員は8000円の引き上
げをすること。②期末手当につ
いては令和5年度人事院勧告
を反映して0・05カ月分の引
き上げをするよう提案するもの
でした。理由として、議員報
酬は平成19年以来据え置かれ
ていること、議会改革として
定数削減やタブレット端末導
入、議会報告会開催等が挙げ
られました。併せて、議員や
議会の活動内容が十分に周知
されていないなどの問題点も指
摘されました。

この答申に関して、議会の
あり方検討特別委員会として
の統一見解が出なかったことか
ら、有志議員が本条例を提案
しました。

物価高騰等で市民生活が厳
しいことに配慮すべきとして反
対する意見がありました。期
賛成多数で可決しました。期
末手当は令和5年12月分から、
報酬は改選後の令和6年10月
24日から引き上げます。

議会報告会の参加団体を
募集しています

議会報告会は、議案等の審議経過
や結果を市民に報告するとともに、市
政の課題について市民の皆さんと意見
交換することを目的に開催してきまし
た。次回開催に向けて参加団体を募
集していますので、お気軽にご相談し
てください。

対象
高梁市内に所在し活動する団体など
(町内会でも構いません。)

応募方法
申込書に記入して議会事務局に提
出してください。申込書は議会事務
局に備えてあるほか、ホームページ
からもダウンロードできます。「高梁
市議会議員意見交換会」で検索して
ください。

・場所及び開催時期は、お申し込み
の団体と協議の上、決定します。
・公平性の確保のため、同一団体と
の開催は年1回とさせていただきます。

お問い合わせ
議会事務局
☎(0866) 21・0277

申請書ダウンロード URL
<https://www.city.takahashi.lg.jp/site/gikai/gikaihoukokukai31-11.html>

近藤市長の4期15年を問う！

市長の政治姿勢について

金尾 市長1期目は「流れを変え
よう」と取り組んだ。2期目には
成羽病院の建設を行った。東日本
大震災などの災害を経て、地方債
を利用して新庁舎建設に着手し
た。3期目は、財政状況が厳しく、
行革に取り組んだ。また、平成
30年7月豪雨災害が発生し、復興
に尽力した。

4期目の現在、大型建築工事が
行われる。分不相応な建物だと思
うが。

市長 物価高騰の中で、合併特例
債や過疎対策債など、さまざまな
財政手法を用い、市民の皆様にて
きる限り負担が及ばないような形
をとっていききたい。

金尾 山田方谷の「入りを量りて、
出るを制す」という言葉が、今の
高梁市には必要ではないか。
市長 人口の減少は想定を超えて

新風の会 代表質問

金尾 恭士 議員



いる。将来を担う子どもたちを
守っていくことが大切である。

農業振興について

金尾 市の農業予算は、市長就任
の翌年の決算と比べて半減してい
るが。

市長 高梁市は農業を「基幹産業」
として、これからも農業を中心に
支援していく。

金尾 農林水産省は「みどりの食
料システム戦略」を掲げているが。
市長 食の安全の中で理解を得て
いくことがより必要となる。

金尾 2021年からの高梁市総
合計画には「有機農業」の文言が
ない。国の政策と大きく違つが。
市長 有機農業に取り組むには、
周辺の農家の理解が必要となる。
農業者の収入も確保できる方向を
探っていききたい。

翻訳アプリなどを使って スムーズな窓口対応を

障害を持つ人や外国人に
優しい窓口にしてほしい

石井 聡美 議員



小中学校の再編計画の
実施予定や期間は

石井 聴覚障害者への配慮を示す「耳マーク」を、市役所の窓口のもっと目立つ場所に設置すべきではないか。

健康福祉部長 健康者の方も含めて取り組みに協力するという意識付けは必要なので検討したい。

石井 窓口にある外国人用の書類は漢字で書かれている。翻訳アプリを利用するなどスムーズなコミュニケーションへの配慮が必要ではないか。

市民生活部長 案内等の工夫のほか、各課にある防災対応のタブレットの活用も図っていきたい。

石井 高梁市立学校園適正配置検討委員会で検討している学校再編は今後どうなるのか。

教育長 委員会からの報告をいただいた後、小学校区を回って意見を聴く。その後、教育委員会で実施計画を立てる。

石井 地域を回ることで計画を見直す場合もあるのか。

教育長 地域でしっかりと議論していただき、意見をいただいた上で総合的にまとめていく。10年程度の期間をかけての執行をイメージしている。

農業施策について

農地の再造成について

新倉 農地の再造成が宇治地区、平川地区、湯野地区で行われたと聞くが、その面積や内容を問う。

産業経済部長 まず宇治地区は県の小規模農地を活用して4・0haで3区画、国の農地耕作改善事業を活用して平川地区は1・8haで6区画、湯野地区は2・6haで8区画造成がなされている。

新倉 造成された区画の利用状況を問う。

産業経済部長 宇治地区の3区画はブドウ栽培に、平川地区の6区画はブドウとトマト栽培で全て使用されています。湯野地区は造成されたばかりですが、ブドウで2名の方が栽培を始めていて、さらに1名の希望者がおられる。

新倉 今後も国などの施策に積極

新倉 淳 議員



的に取り組んでいただきたい。

有害鳥獣について

新倉 有害鳥獣の保護柵等の補助事業を受けるための最低要件を問う。

産業経済部長 100メートル以上で農地を完全に囲うものであること。

新倉 畑の形状にもよるが、家庭菜園としては少し広すぎる。丹精込めて作った野菜が有害鳥獣にやられた話をよく聞くことがあり、要件緩和ができないか。

産業経済部長 25メートルの正方形だとすると、625平方メートルとかなり大きな面積となる。今後、要望等をお聞きして要件の修正なりをしていきたい。

3人目以降の子どもには1千万円の補助を

小林 重樹 議員



デジタルスマートシティの
促進について

小林 住民票などコンビニエンスストアでの電子交付に取り組むべきではないか。

市長 コンビニ交付を導入するだけのメリットがあるかどうかというところもあるが、来年3月から全国で戸籍の広域交付が始まるので、導入するかどうか、もう少し研究、検討していく。

移住、定住施策について

小林 子育て世帯や若者への住宅支援と次年度に向けた事業展開について問う。

政策監 住まいに係る支援制度については本年7月に行った制度利用者のアンケート結果等に基づき

既存制度の検証を行いつつ、他自治体の事例等を参考として、支援制度そのもののスクラップ・アンド・ビルドや対象者要件、支援額の拡大や縮小等の見直し作業を新年度予算に向けて進めている。

人口問題について

小林 国が示した子育て支援金に市が上乗せして、三人目以降の子どもには総額1000万円の補助をしてあげることができないか。

市長 国の施策に上乗せするという形のものであれば、他制度の精査をする中で組み立てができるかもしれない。良いご意見だと私も思う。

政府通達は公営住宅の 「連帯保証人は不要にすべき」とあるが

石部 誠 議員



健康で文化的な生活を
営むに足りる市営住宅を

市の不祥事への対応について

石部 市の未払い案件の対応は「職員の事務の不適切な処理による未払い」があったとされた。今回は2度目でもあり、発生した背景やシステムまで調査が必要である。執行機関や副市長・市長の責任が大きいのでは。

総務部長 直接的な原因は、当該職員の事務手続のミス。職員の行為を見抜けなかった上司。それをチェックできないなど複合的である。全職員のコンプライアンス研修の実施、コミュニケーションを取り合える組織風土の醸成も必要。執行部としても改めて再発防止策を組織として考えていく。

石部 市営住宅のバリアフリーや改修の具体策は。

土木部長 「長寿命化計画等に基づき改修している。改修を行うと居住環境の向上により、家賃の値上げが見込まれる。

石部 住宅困窮者の社会保障として市営住宅がある。政府通達は入居しやすいよう「保証人は不要にすべき」とあるが、市の現状は。

副市長 法改正により「保証人は不要」となっているが、高梁市は保証人を必要としている。今後他の状況を見ながら検討をする。

石部 連帯保証人の問題、税金滞納の問題、市営住宅から市営住宅への転居など対応の緩和を求め

価格を抑える工事発注を望む

高梁認定こども園基本設計
(アルキメディア研究所)
について

平松 基本設計業務の委託を競争入札ではなく、特命随意契約で行ったのか。

教育次長 特定した相手と契約をするので相見積もりは取らない。
平松 今の市の財政を考えると価格を抑える必要があったのではないのか。

タブレットを活用した
取り組みについて

教育次長 業者選定は市の特命随契ガイドラインに基づき実施した。市は明治大学理工学部と相互協力による基本協定を結んでおり、基本構想策定にも協力をいただいている。契約業者代表は、協定先の明治大学教授であり、30年間という長い期間、高梁市のまちづくり計画に携わっていることや、ワークショップの経験が非常に豊富であり、基本設計に住民や関係者の意見が反映できることから選定した。

平松 特命随契は相見積もりを取らないのか。

平松 いじめ、不登校児童生徒防止に学習用タブレットを活用した取り組みはできているのか。
教育長 いじめ等未然防止の場合、以前は紙でのアンケートをやっていたが、タブレット化で瞬時に日々情報が入る。またアプリを使い、今の自分の気持ち、体調等を簡単に入力できる仕組みも活用している。

平松 久幸 議員



市外在住の職員は
高梁市にふるさと納税を

子育て支援施策について

森 インフルエンザ予防接種料金の多子減免は考えられないか。

健康福祉部長 接種にいられた子どもさんが、二人目なのか三人目なのか医療機関で把握しにくい面もあるが、多子の助成制度等を総合的に判断して、限られた財源の中で適切に対応していく。

シティプロモーションについて

森 自虐PRによるシティプロモーションに取り組みべきではないか。

政策監 ネガティブな話題でもユーモアを伴う積極的な情報発信によつて有効なプロモーションになると考えている。他市の成功事例等を参考に研究していく。

森 シティプロモーションの成功は、ふるさと納税の増額につながる

森 和之 議員



ふるさと納税について

ふるさと納税について

森 返礼品を伴わないメニューの構築を目指すべきではないか。

市長 来年度のふるさと納税の目標を高く持とうと現在、職員と共を考えている。返礼品を伴わない方法は必ずあるので、返礼品の有無を含め選択肢を増やし、しっかりとPRしていく。新年度に向けて体制も整える。

森 高梁市ふるさと納税サイトの充実を仲介業者へ呼びかけられないか。

市長 市としてアピールしたいものを業者に伝える。
森 市外在住の職員が高梁市のふるさと応援寄附金を利用するのを切望する。

立地適正化の考え方を問う

電源立地交付金について

川上 電源立地交付金について現在の状況を問う。

総務部長 電源立地交付金については発電施設の設置や運転の円滑化を図るため、市町村の住民の利便性向上を目的とした公共用の施設等の事業に交付されるもの。

川上 電源立地交付金は電力、水の保全のために造られたダム建設に協力した地域への交付金であり、旧備中町、旧成羽町に交付されていることには間違いはないと思いますが、どうか。

総務部長 発電また水の供給等に協力した地域に交付されたことには間違いありません。

立地適正化計画の
方向性について

川上 立地適正化計画は地域局を

川上 修一 議員



物価高から
市民生活を守るべきではないか

物価高対策について

川上 去る11月29日に重点支援地方交付金1兆5592億円(低所得世帯支援枠1兆592億円、推奨事業メニュー分5000億円)が計上された令和5年度補正予算が成立した。

今、物価高に苦しんでいる事業者や市民の皆様が多数おられる。住民税非課税世帯への7万円給付、重点支援地方交付金を活用した推奨事業を年度内に予算化して物価高騰対策を早期に実施すべきではないか。

市長 国の補正予算が成立したことを受け本市でも早急に物価高対策を実施していきたい。具体的には住民税非課税世帯への7万円給

川上 博司 議員



付については1月中旬に納付書を配布し1月下旬から2月にかけて給付できるようにしていく。推奨事業メニューでは家庭や事業者が支払う水道料金について、1月から3月分までの基本料金を減免する。



維持管理に有利な財源は
ございません

伊藤 泰樹 議員



人材育成と組織体制について

伊藤 素養の育成の観点から新規採用職員について一定期間基礎研修をして配属してはどうか。

総務部長 来春の採用から見直し、改善ができるよう検討、準備を進める。

公共施設の整備と管理
並びに広報的活用について

伊藤 建てる時には有利な財源があっても、維持管理していく時には有利な財源なんて無いんです。維持管理経費のかからない施設整備に努めるべきではないですか。

市長 積極的に省力化に努めていくとともに、脱炭素の計画を作っておりますので、その計画に沿った事業を今後も展開していきたいと考えております。

自主防災組織について

伊藤 自主防災会の活動補助金が使えないが。

政策監 担当課においてなるべく調整させていただいて、丁寧に対応させていただきたい。

野焼きについて

伊藤 野焼きに関して地域のルール作りはできないか。

市民生活部長 法の趣旨の説明により、住民同士の相互理解の下、地域の生活、環境保全が図られるよう啓発に努めたい。

住宅リフォーム事業費
補助金について

伊藤 介護リターン者について支援はできないか。

政策監 リターンを要件としたものはありません。

佐与谷川の
水質を継続的に検査を

宮田 好夫 議員



住民が使う水の
安全性は十分なのか

宮田 佐与谷川で市が水質検査を行っているがその内容はどうか。

市民生活部長 産廃処分場のある吉備中央町との境の場所では生活環境項目の内6項目の検査を毎月、環境基準に定める44項目の検査を年1回行っている、現在のところ異常な値は出ていない。

宮田 下流住民の安心のために処分場閉鎖後も継続して水質検査を行う必要があると考えるが。

市民生活部長 閉鎖後も当面は調査を行う予定である。

宮田 株式会社吉備クリーンセンターが吉備中央町に新たな処分場を計画しているが、どのようなものか。

市長 埋立物は燃え殻や汚泥など

15種類、面積3万850平方メートル、容積5万6401立方メートルの管理型処分場を計画し、県と事前協議が行われている。

宮田 この処分場の排水は狐谷川に放流し、津川地域市民センター付近で佐与谷川に合流して有漢川に流れる計画になっている。先般県から市へ意見照会を求められたが、市としてどのような対応を行ったのか。

市長 津川地域から反対要請が出されており、地域の不安を認識した上で水質管理や自然環境、生活環境の保全など将来にわたり安心な暮らしが営めるよう県の責任において環境の保全を求めるとともに、事業者への指導を徹底していただく旨の要望書を備中県民局長に直接提出した。

野良猫に対する市の認識を改めよ

森上 昌生 議員



日本遺産推進事業について問う

森上 吹屋の日本遺産推進事業のテーマは「ジャパニレッド」ということで、この名称を使っているが、この名称や展示内容に違和感を感じてしまう。例えばジャパニレッドの元になっているベンガラは、インド産の赤色顔料がその語源だと思ふ。

産業経済部長 ベンガラのは、インドのベンガル地区で、日本のベンガラのは、インド産の赤色顔料がその語源だと思ふ。ベンガラのは、インドのベンガル地区で、日本のベンガラのは、インド産の赤色顔料がその語源だと思ふ。

森上 観光コンシエルジュの養成講座の内容はどういうものであったのか。その役割はどういうものか。さらに現在の状況はどうか。

市の野良猫対策について問う

産業経済部長 観光コンシエルジュ養成講座については、令和2年度に行われた事業で、事業費370万円程度。1名は高梁市役所に就職されたが、それ以外の受講者に今現在ガイドはいない。

森上 我々は過去10年間で600匹以上の猫を譲渡している。その他に譲渡に適さない猫を年間に数十匹を不妊・去勢しているが。

市民生活部長 里子や不妊・去勢をしなかったら、どのぐらいになっているかという試算は、していません。

森上 野良猫に餌を与えるなどの看板は給餌が野良猫を増やすという誤解を市民に与えるのでは。

市民生活部長 今後作成する際は無責任なという表現について配慮したい。

森上 その認識を改めてほしいと言っている。

「第23回エデュカーレinたかはし」に議員の有志が参加しました



11月25日に、高梁市図書館の4階多目的室において、「第23回エデュカーレinたかはし」が開催されました。このイベントは、吉備国際大学井勝研究室の学生たちが主催し、学生や市民が集まって、テーマに沿って話し合うイベントで、22人が参加しました。今回は「みんなで語り合う高梁市の挑戦と可能性」というテーマで、高梁市の総合計画の指針である「健康都市たかはし」を実現するためにはどうすればいいのかわかると、市民や学生さんたちと一緒に話し合いました。

参加者には外国人留学生も多く、困ったときに相談できる場所がない、バイトが少なくないなど、普段あまり聴く機会のない生活上の不安や困りごとなどを共有しました。こういったイベントが市民や学生が市政を身近に感じる契機になってほしいと思います。